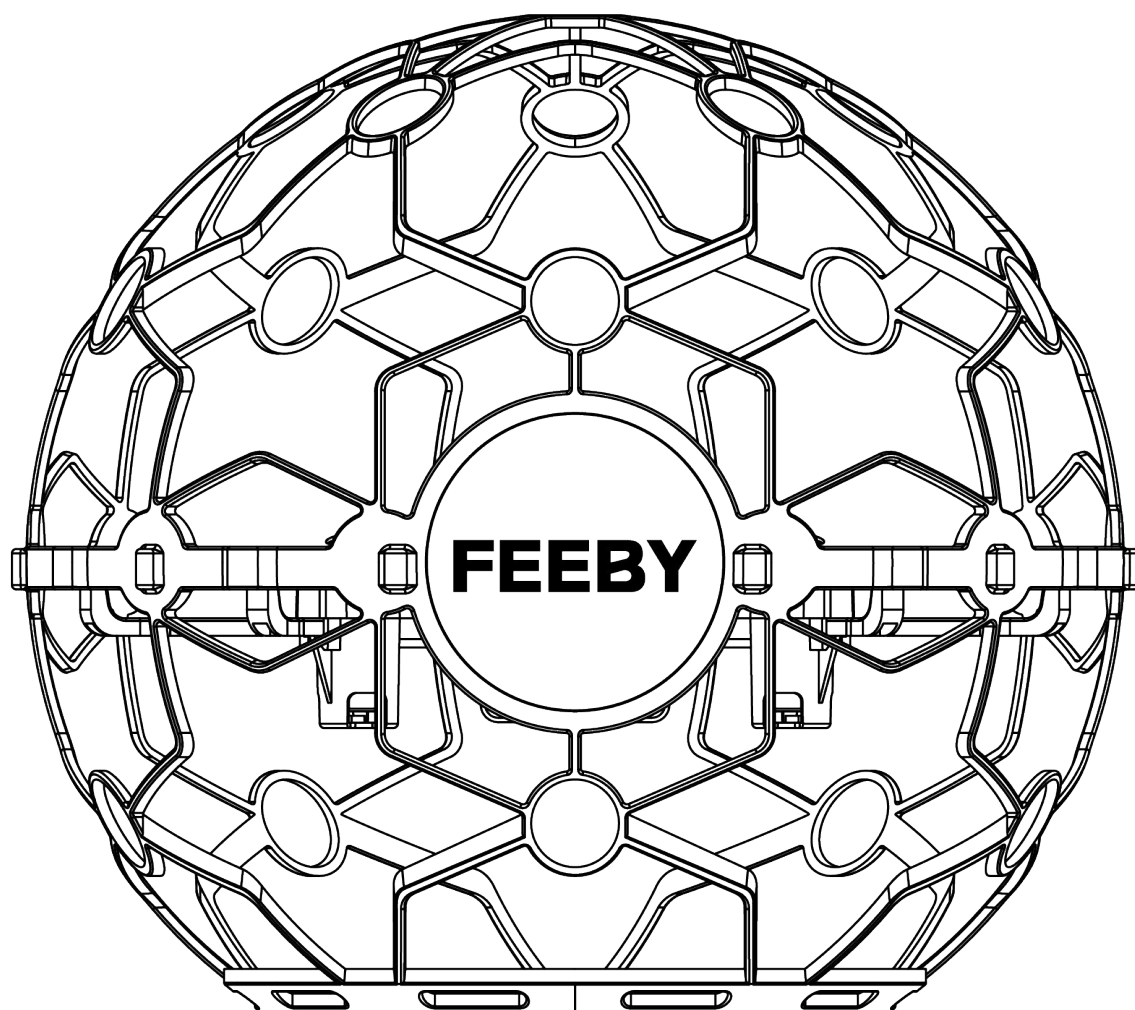


ご使用前に必ず本マニュアル8ページの完全版取扱説明書QRコードを
確認し、機体と送信機をリンク（バインド）してください。

FEEBY

取扱説明書 (Ver.2)



目次

1. 安全上のご注意	03
2. 注意事項	04
3. スペック	05
4. 付属品	
5. 送信機ボタンの説明	06
6. 飛行方法	
01) 電源の入れ方	08
02) 送信機のリンク方法	09
03) IMUキャリブレーション	10
04) モーターの始動方法	
05) モーターの停止方法	11
06) コントロールモード変更	12
07) トリム調整	
08) コントロールモードの説明	13
09) LEDカラーの変更	15
10) 離着陸モード	
11) スピード調整	
12) 回転回復モード	16
13) 360° フリップ	
14) バッテリーの充電方法	17
7. よくある質問	18

1. 安全上のご注意

- 取扱説明書をよく読み、必ず使用方法を守ってご使用下さい。
- 必ず大人の監視の下でお子様に本製品を使用させてください。
- 誤飲、窒息などの危険がありますので、3歳未満のお子様は、使用しないでください。
- この製品は防水・防塵ではありません。水でぬらさないでください。
- 怪我をする恐れがあるため、人に向かって飛ばさないでください。
- プロペラやモーターに髪の毛が絡まないように注意してください。
- プロペラが高速で回転するときは、中に手を入れないでください。
- 本製品は屋内用です。屋外では飛行しないでください。
- 周囲の安全を確認した上で使用してください。
- 飛行中には、十分な距離を取ってください。
- 機体の点検・整備を行う際は、バッテリーを取り外してください。
- 正規品ではない部品を利用して分解したり、修理や改造をしたりしないでください。

バッテリーに関する注意事項

- バッテリーを長時間使用しすぎると、過熱して故障する可能性があります。
- 長時間充電や高電圧充電の場合、バッテリーが膨らんで故障する可能性があります。
- バッテリーを満充電または放電状態で長期間保管すると、故障する可能性があります。
- バッテリーを長時間使用すると、電力が低下し、バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。
- バッテリーの充電にはご注意ください、外出時は充電を中止してください。
- バッテリーを正しい方法で保管してください。
- 不要になったバッテリーは正しい手順で廃棄をお願いいたします。

充電時の注意事項

- 純正充電器を使って充電してください。
- 壊れた充電器を使用しないでください。
- バッテリー側が発熱したり、膨らむ場合は、すぐに充電を中止してください。
- バッテリーが完全に充電されたら、バッテリーを充電器から外してください。
- 充電器は、引火性、爆発性または可燃性の恐れがある物の近くには設置しないでください。
- バッテリーを保護するために、使用されたバッテリーは10～15分間冷ましてから充電してください。
- 気温が、動作温度範囲 0℃ から 40℃ を超える場合は充電器を使用しないでください。
- 充電中は席を外さないでください。

2. 注意事項

本製品及び取扱説明書に対する知的財産権はHelsel Co., Ltd.にあり、書面による許可がなければいかなる組織や個人も再生産、コピー及び出版することはできません。引用または出版された場合にはHELSELで出典を表示しなければならず、取扱説明書は本来の意図と異なって引用されてはいけません。本取扱説明書の場合、継続的なオンラインアップデートがある予定です。今後発生するお問い合わせについて、オンラインアップデートされた関連文書を確認またはお問い合わせいただければ、ご相談をお手伝いいたします。

3. スペック

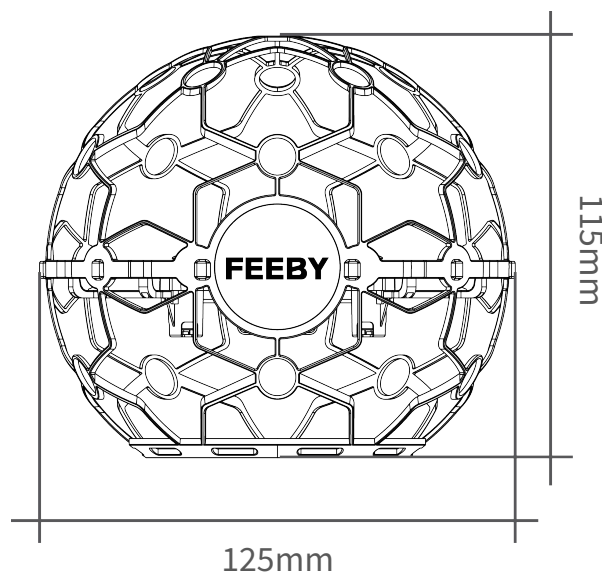
サイズ：125 * 125 * 115mm（長さ×幅×高さ）

離陸重量：45g（バッテリー付き）

最大航続距離：30m

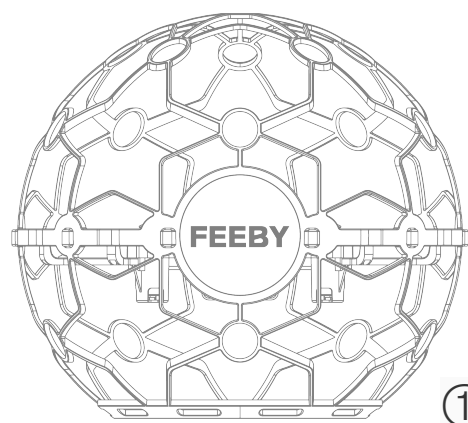
バッテリー容量：450mAh 3.7V LiPo

最大ホバリング時間：約5分

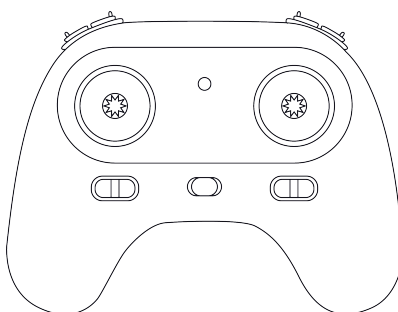


4. 付属品

- | | |
|------------------------|----------------|
| ① FEEBY x1 | ⑤ 予備プロペラ x4 |
| ② 送信機 x1, 送信機 スティック x2 | ⑥ ドライバー x1 |
| ③ バッテリー x1 | ⑦ プロペラリムーバー x1 |
| ④ USB充電器 x1 | |



①



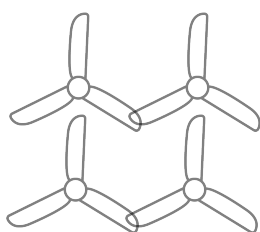
②



③



④



⑤

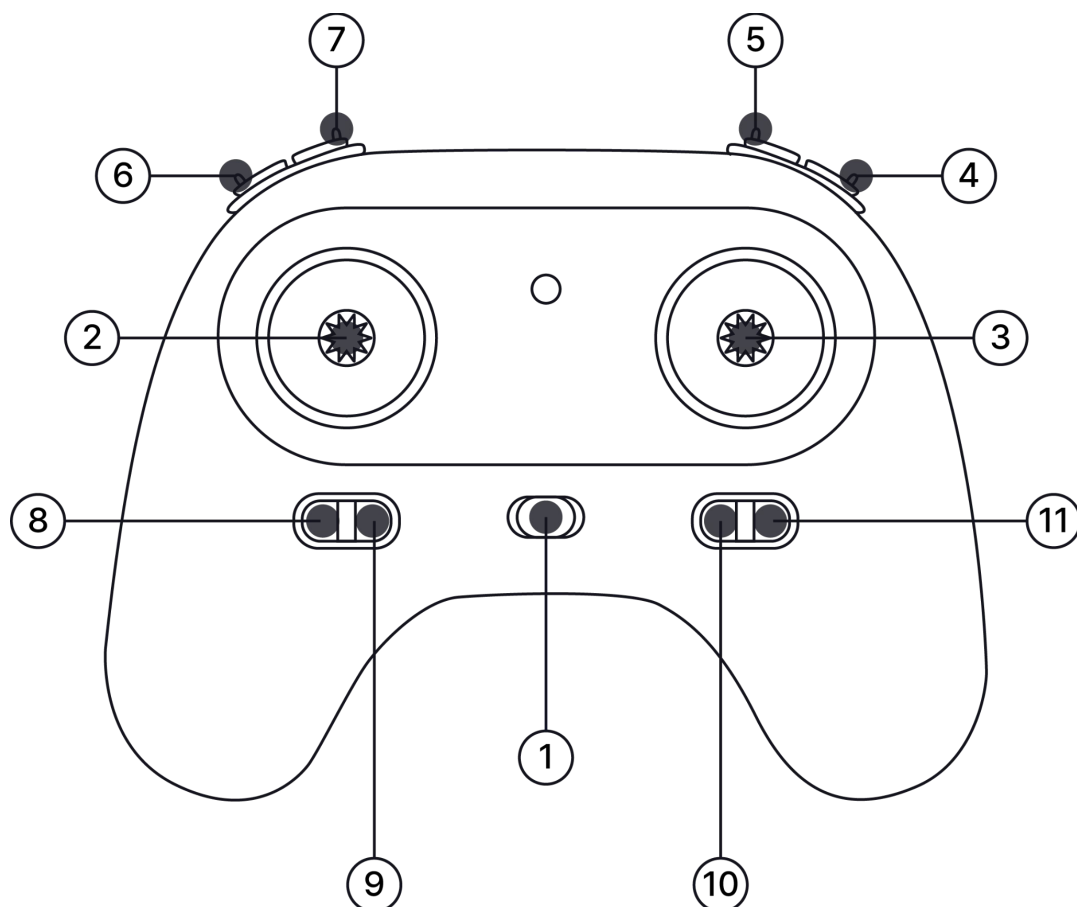


⑥



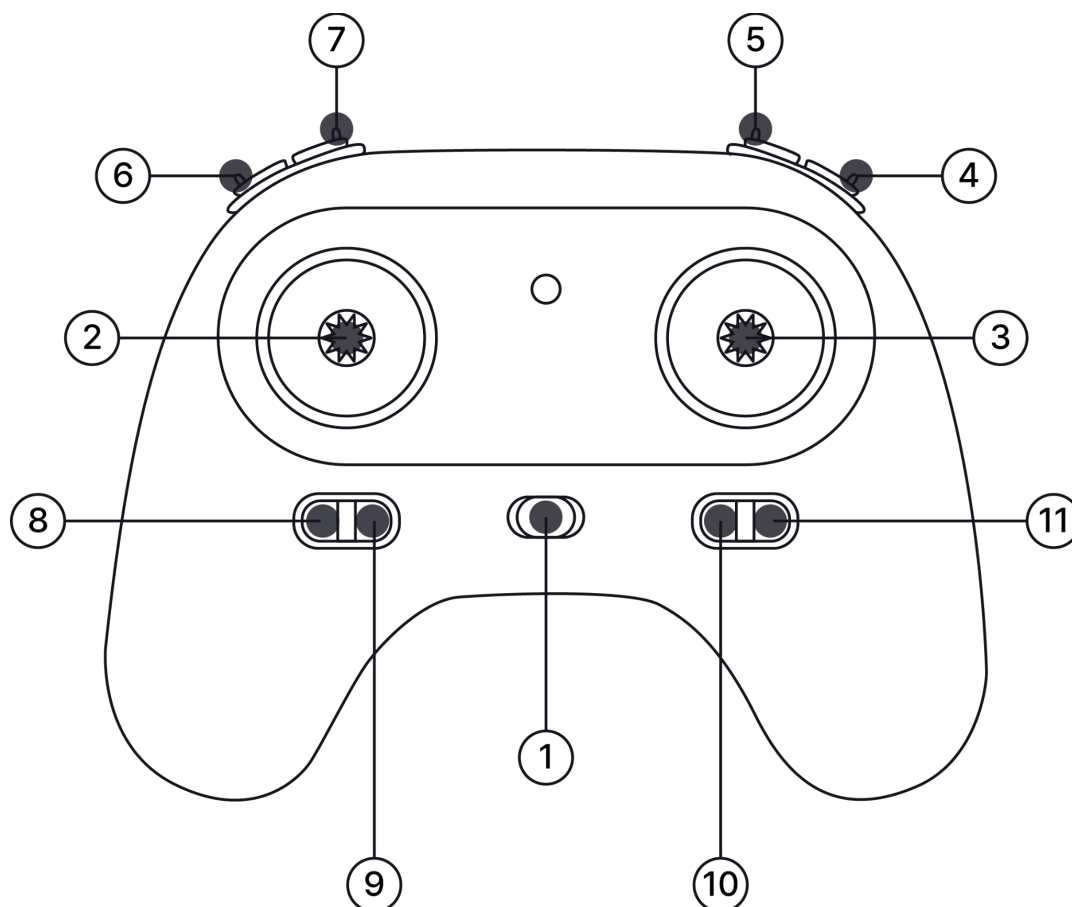
⑦

5. 送信機ボタンの番号



番号	機能	機能説明	備考
1	電源ボタン	電源のON / OFF	
2	左のスティック	上昇、下降、左/右回転	基本モード2
3	右のスティック	前進/後進、左/右の移動	
4	スピード調整	短押しで離陸/長押しで着陸	モーターの始動後使用
5	後部 LED カラー	LEDカラーの変更が可能です。	
5+2	中央 LED カラー	左スロットル (2) 最下段 + 5 ボタン (カラー変更)	
6	モーターの始動/停止	短押しでモーター始動/長押しでモーター停止	2 秒以上長押しでモーター停止
7	フリップ	360° フリップ	
9+3	トリム調整	8ボタンを押しながら同時に3ボタンを動かして調整します。	

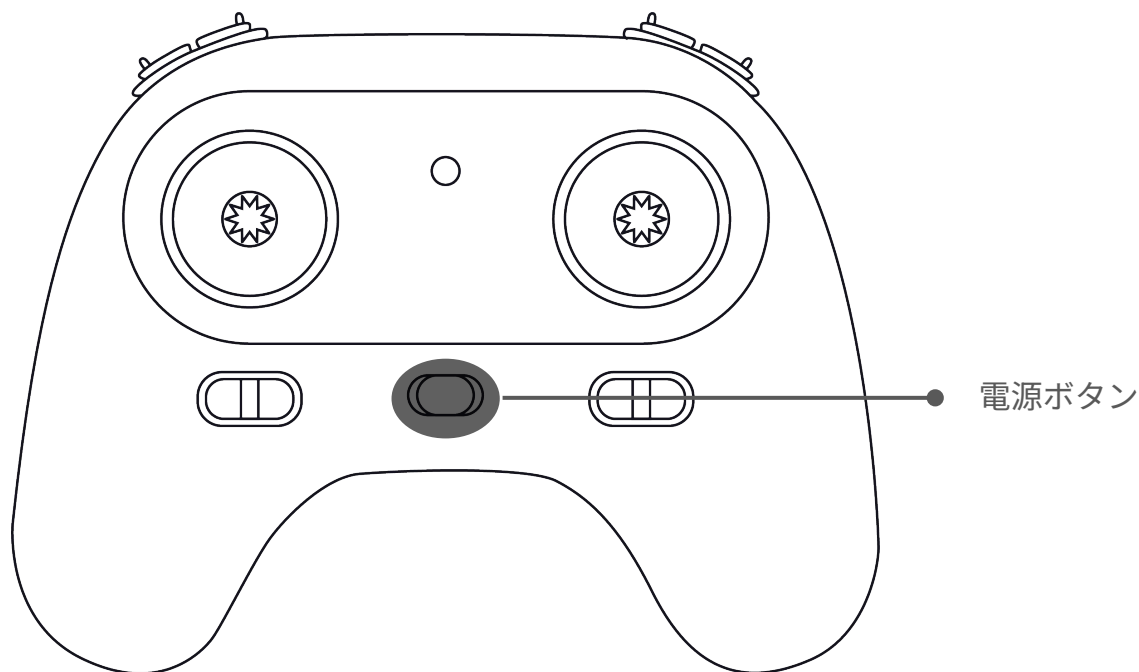
5. 送信機ボタンの番号



番号	機能	機能説明	備考
8	離着陸ボタン	短押しで離陸/長押しで着陸 (モーターの始動後使用)	
10	アリングモード	コントローラーとドローンを接続するモード	初回設定時に使用)
11	回転回復モード	ボタンを押して回転回復モードのONとOFFが可能です。	基本OFF
5+1	コントロールモード変更	5ボタンを押しながら電源を入れてモード1に変更。	基本モード2
2+6	緊急停止	スロットルを最下段に下げたまま、6ボタンを押して緊急停止します。	
2+3	モーター停止	両方のスティックを最下部の外側コーナーへ同時に動かしてください。	

6. 飛行方法

STEP. 01 電源の入れ方



まず送信機の電源ボタンを横に押して電源を入れてから、機体に電源を入れます。

※送信機より機体の電源を先に入れた場合、誤動作または送信機のリンクが解除される可能性があります。

- 飛行が完全に終わるまで、送信機の電源を切らないでください。
- 飛行中に送信機の電源を切ったり、バッテリー不足で送信機が自動的に切れたりすると、機体が制御不能になる可能性があります。
- 飛行中に機体のバッテリーを交換する際にも、送信機の電源を入れた状態で交換してください。
- 飛行が完全に終わったら、まず機体のバッテリーを外して電源を切ってから送信機の電源を切ります。
- 送信機のバッテリーが不足すると、送信機から警告音が鳴ります。

FEEBYの一次低電圧警告(バッテリー不足)

- LEDライトが1秒に3回何度も点滅します。

FEEBYの二次低電圧警告(バッテリー不足)

- LEDライトが1秒に数回点滅し、これ以上飛行できなくなり、再始動が不可能です。

STEP. 02 送信機のリンク方法

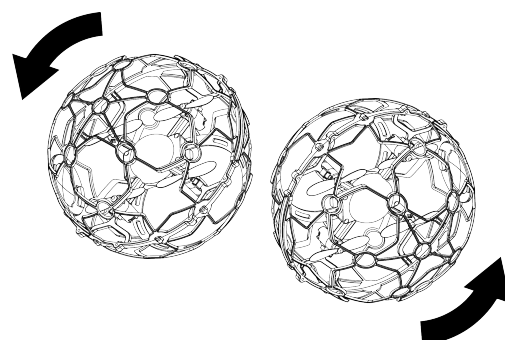
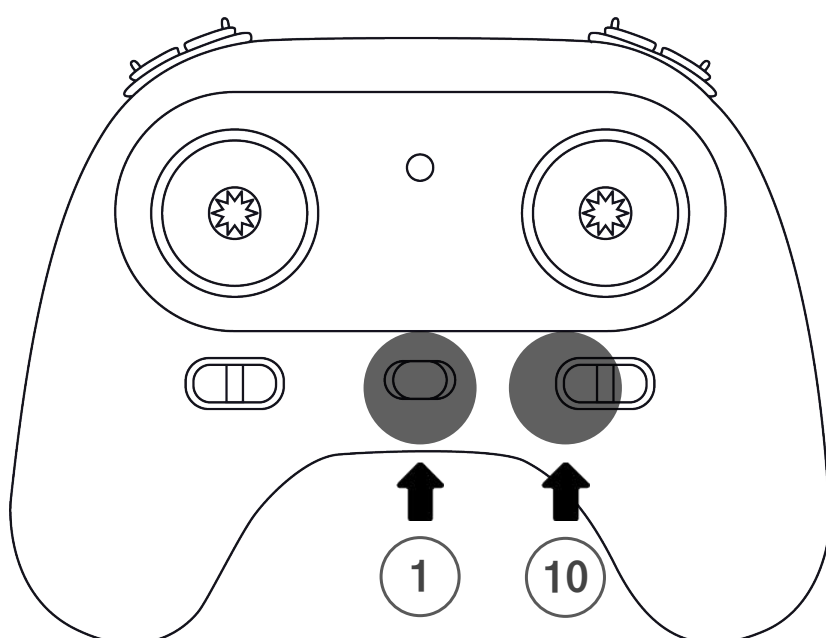
初回使用時は以下の手順でペアリングを行ってください。

送信機はリンクされた状態で出荷されるため、通常の状態では電源を入れるたびにリンクする必要はありません。ただし、以下の条件ではリンクが解除される場合があるため、再度リンクする必要があります。

- 送信機又は受信機を交換した場合
- 周辺環境からの電波干渉（Wi-Fi、BTなど）
- 機体が他の送信機とリンクしている場合
- その他、機体への衝撃などによる事由



ペアリング動画 QR-CODE



機体を上下に裏返すように確実に3回回します。

ペアリング方法

1. 機体の電源を接続します。（ペアリング前はLEDインジケーターが速く点滅します。）
2. ペアリングの準備が完了すると、中央の円形ライトの点滅が止まり、赤/青のライトが点灯します。（LEDインジケーターがゆっくりと点滅します。）
3. 機体を3回連続で素早く裏返すように上下にしっかりと回転させます（LEDインジケーターが再び速く点滅します。）
4. 送信機の電源ボタン（中央下[1]）をONにした後、周波数ペアリングボタン（左下[10]）を押すとペアリングが完了し、LEDインジケーターの点滅が止まり、ペアリングが成功します。（LEDが速い点滅を続ける場合やペアリングに失敗した場合は、再度試してください。）
5. LEDインジケーターまたはスタートキーでペアリング状態を確認します。（えるいーでいーいんじけーたーまたはすたーとキーでぺありんぐじょうたいをかくにんします。）

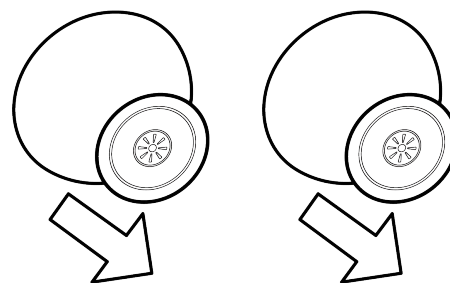
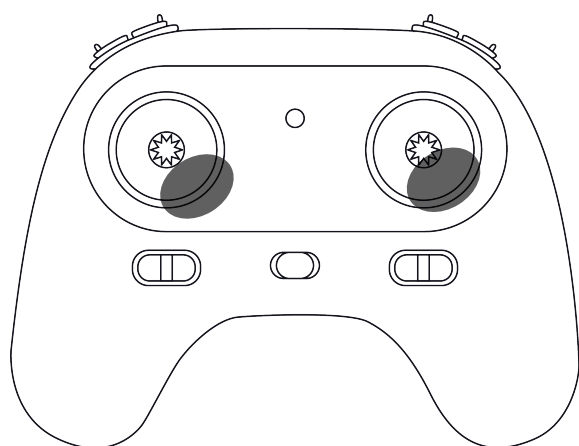
STEP. 03 IMUキャリブレーション

IMUキャリブレーションは、機体が空中で水平を保てるように離陸前に地面で方向や傾きを感じ取るセンサーをキャリブレーションするものです。

離陸前に毎回キャリブレーションしてください。

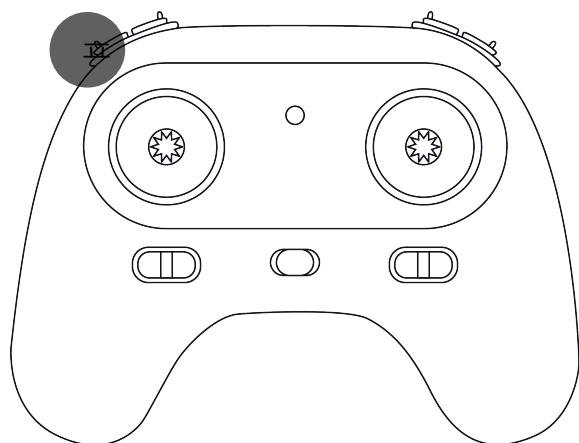
機体を平らなところに置いたまま、図のように、左右のジョイスティックを同時に右下隅に移動して、IMUキャリブレーションに入ります。

機体のLEDライトが点滅して止まると IMUキャリブレーション完了です。



送信機スティックの方向。

STEP. 04 モーターの始動方法

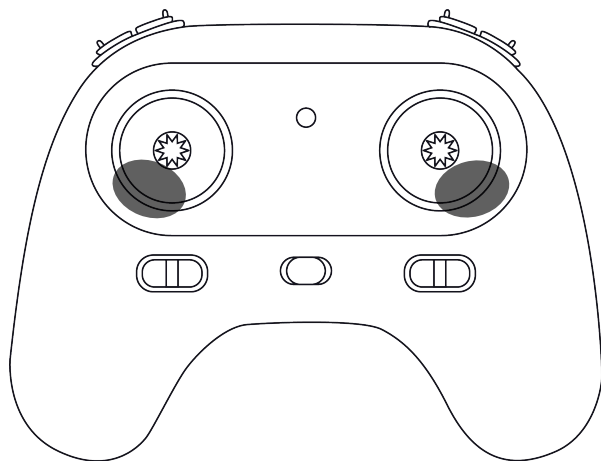


送信機とフィービーがリンク（接続）された状態で、送信機の**モーター始動ボタン（左上6）を押すと、モーターが回転します。スロットルスティックを上にあげて離陸してください。

※姿勢維持モードでの離陸は推奨いたしません。

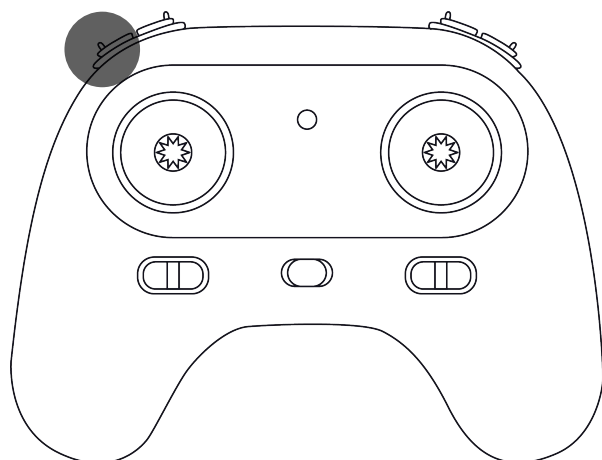
STEP. 05 モーターの停止方法

モータを停止させる方法は3つあります。(モード2基準)



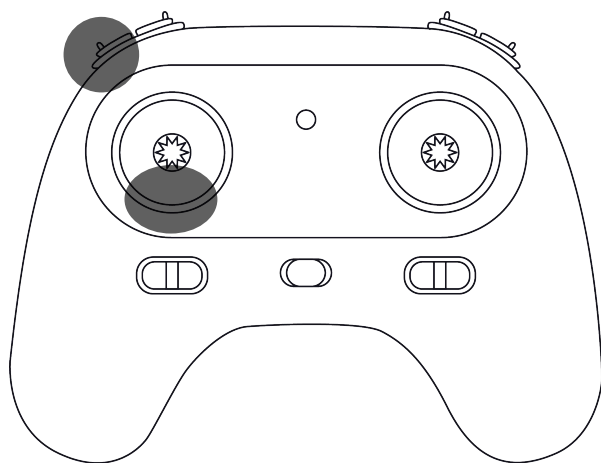
モーター停止機能

2番スロットルスティック（左）を7時の方向へ、3番スロットルスティック（右）を5時の方向へ、同時に最下端まで動かします。



緊急停止機能 (きんきゅうていしきのう)

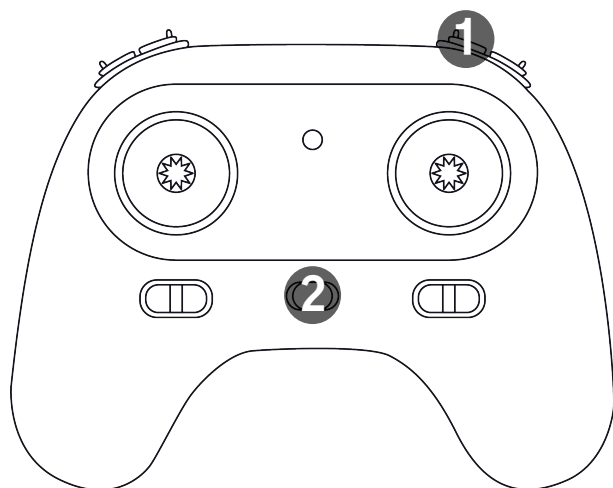
フィービーを緊急停止させるには、左上にある左側のボタン（6）を2秒間長押しすることで、緊急停止機能を動作させることができます。



緊急停止機能 (きんきゅうていしきのう)

フィービーを緊急停止させるには、スロットルスティック（左スティック）を一番下まで下げた状態で、**左上にある左側のボタン（6）**を押すと、緊急停止機能を動作させることができます。

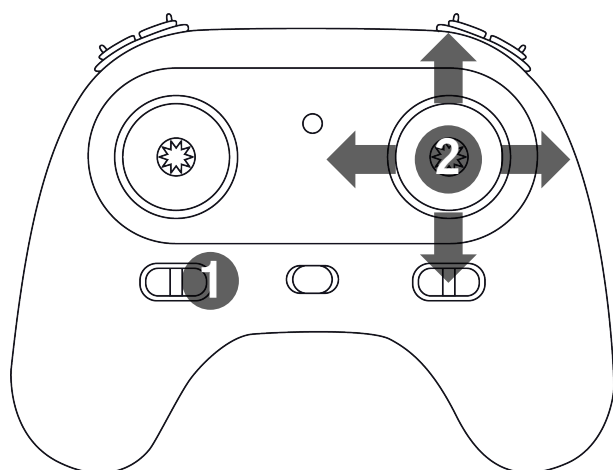
STEP. 06 コントロールモード変更



電源を入れる前に5ボタンを押しながら電源を入れると、コントロールモードをモード1に変更できます。(基本モード2)

飛行終了後、送信機の電源を切った後、電源をオンにすると、基本モードであるモード2に戻ります。

STEP. 07 トリム調整



機体がホバリング中に何らかの方向に流れる場合は、トリム調整をする必要があります。

送信機のトリムボタン(9番)を押した状態で右スティック(3番)を動かします。

前、後、左、右の方向に動きながら、トリムを調整することができます。

STEP. 08 コントロールモードの説明 | モード 2

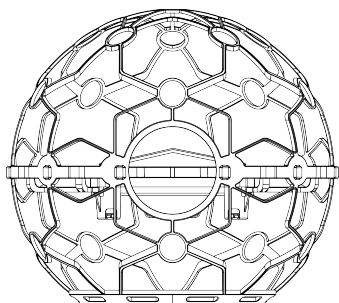
送信機は基本モード2です。

モード2の特徴：左スティック（上昇、下降、左回転、右回転）

右スティック（前進、後進、左移動、右移動）

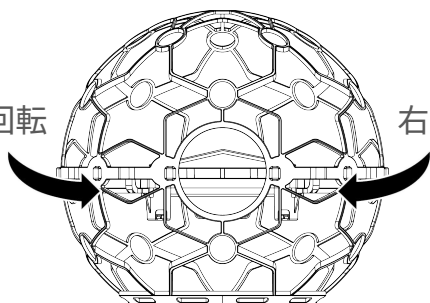
左スティック

上昇



下降

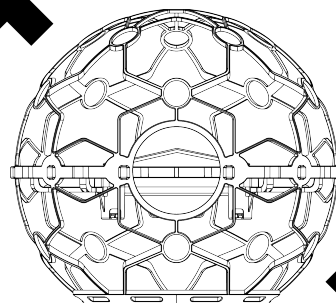
左回転



右回転

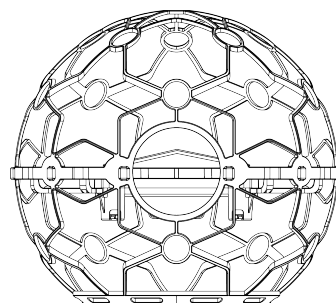
右スティック

前進



後進

左移動



右移動



STEP. 08 コントロールモードの説明 | モード1

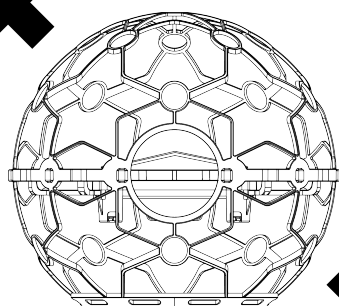
※モード1への変更方法はSTEP6をご確認ください。

モード1の特徴: 左スティック（前進、後進、左回転、右回転）

右スティック（上昇、下降、左移動、右移動）

左スティック

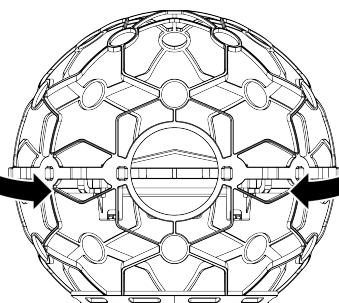
前進



後進



左回転

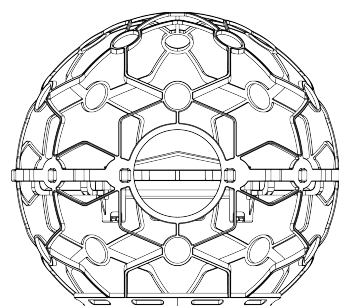


右回転



右スティック

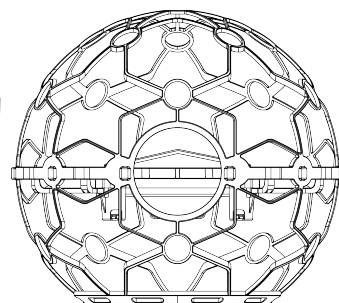
上昇



下降



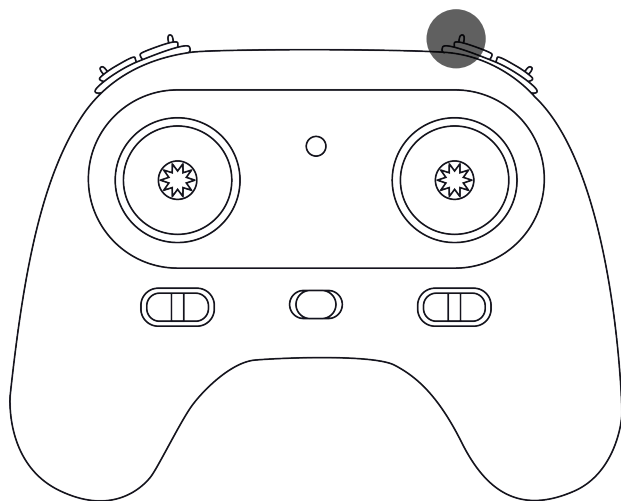
左移動



右移動



STEP. 09 高度維持モード

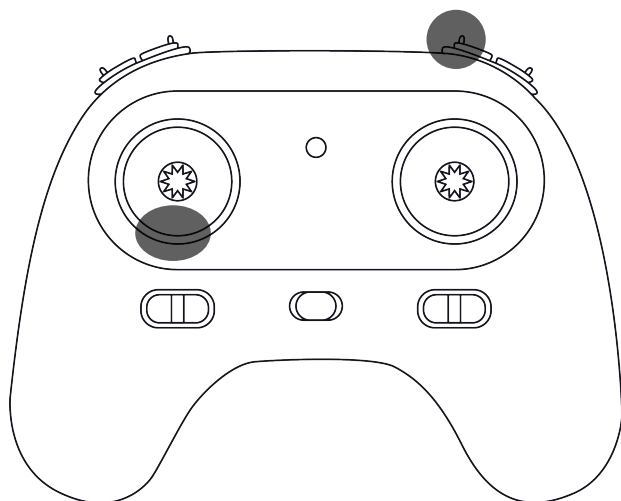


後部LEDカラーの変更

フィービーの電源をONにした後、**LEDカラー変更ボタン（右上5）を押すと、LEDの色を以下の順に切り替えることができます。

（白、紫、黄、水色、緑、赤、青）

※ 飛行中は色を変更することはできません。

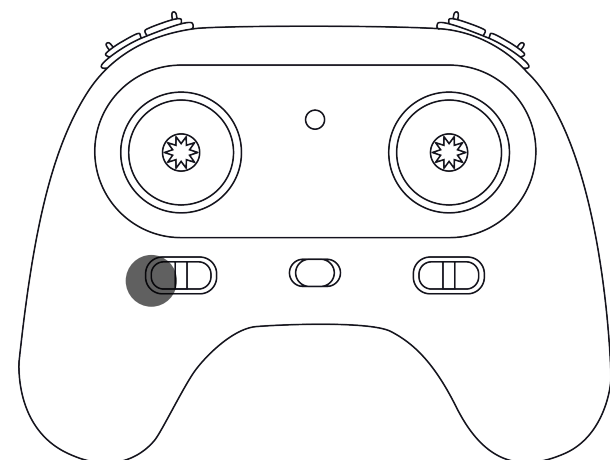


中央LEDカラーの変更

左スロットル（左中央2）を最下端に維持した状態で、LEDカラー変更ボタン（右上5）を押すと、中央の円形ライトの色を変更することができます。

（赤 / 青 / 消灯）

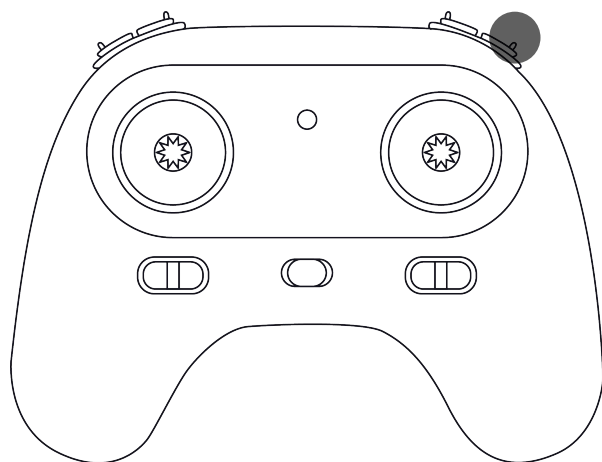
STEP. 10 離着陸モード



フィービーの始動後、**離着陸ボタン（左下8）を短く一度押すと、送信機からビーブ音が鳴り、フィービーが自動で離陸し、約1メートルの高さでホバリングします。

再度、離着陸ボタン（左下8）を短く押すと、送信機からビーブ音が鳴り、フィービーが現在地に降下して着陸し、モーターが停止します。

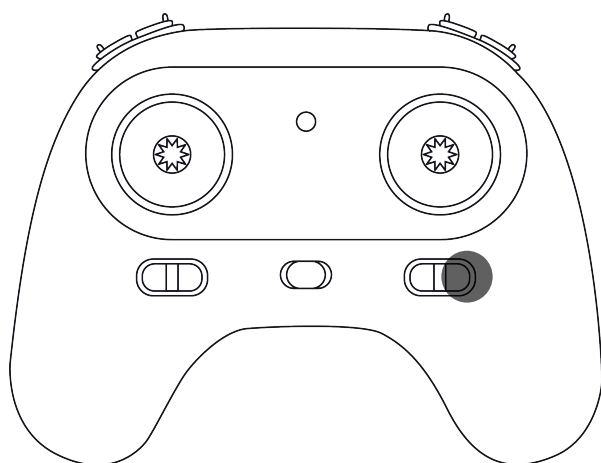
STEP. 11 スピード調整



飛行中、送信機の**速度調整ボタン（右上4）を押すことで飛行速度を変更でき、変更時には音が鳴ります。

音1回 低速
音2回 中速
音2回 高速

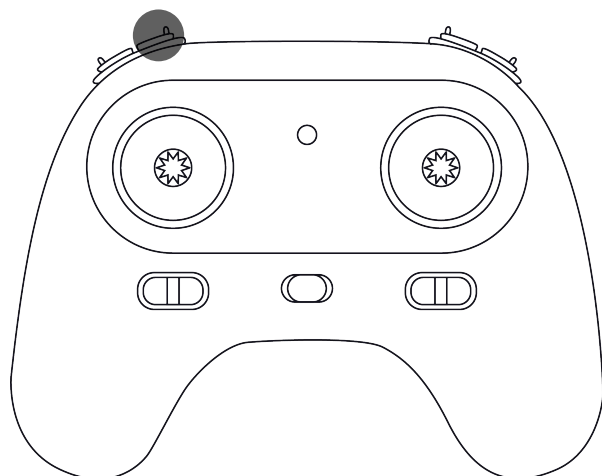
STEP. 12 ヘッドレスモード



飛行中、送信機の回転回復モードボタン（11番）を押して、モードをON/OFFすることができます。（基本OFF）

機能がオンになった状態で機体が衝突して回転すると、自動的に最初に設定された前面方向に再び復旧されます。最初に電源を入れた時、機体が眺める方向が前面に認識され、IMU補正または電源再投入で前面方向を再設定することができます。この機能は、再びボタンを押すか、電源を入れ直すと解除されます。

STEP. 13 360° フリップ



前方・後方・左右に360°フリップが可能です。

360°フリップボタン(7番)を押した後、フリップする方向に右スティックを動かしたら、その方向にフリップします。

STEP. 15

バッテリーの充電方法



バッテリー



USB充電器

放電時	USB充電器にバッテリーを接続すると、赤いLEDが点灯します。
フル充電時	USB充電器の赤いLEDが消えます。



USB充電器を電源に入れた後、バッテリーを接続します。



バッテリーがフル充電されると、赤いLEDが消えます。

7. よくある質問

症状	原因	解決方法
送信機の電源が入らない。	間違った電池の取り付け または電池の電力不足	電池ホルダーに表示された+, - に従って正しく装着されていることを確認するか、新しい電池で再試行してください。
	送信機の電源ボタンの不良	購入先にアフターサービスを受付してください。
	送信機の電源ボタンOFF	電源ボタンを ON にしてください。
FEEBYの始動が かかりません。	バッテリーとコネクタが 接続されていない	バッテリーの接続状態を確認し、正しい方向に接続します。
	機体と送信機の送受信距離超過	半径30M以内で飛行してください。 室内での目視の範囲内飛行をお勧めします。
	リンクされていない送信機	取扱説明書に記載されている送信機のリンク方法を確認し、再リンクします。
モーターの始動、停止、 IMUキャリブレーション ができません。	送信機の電源ボタンOFF	電源ボタンを ON にして再試行します。
高度維持が できません。	強い衝撃による一時的な動作不良	IMUキャリブレーションをします。
	高度維持部品の故障	購入先にアフターサービスを受付してください。
高度維持モードで 急上昇します。	プロペラの破損	新しいプロペラに交換してください。
	強い衝撃による一時的な動作不良	機体の電源を完全に切った後、再度電源を入れてください。

7. よくある質問

症状	原因	解決方法
FEEBYの飛行性能がおかしいです。	ネジの締め付けが緩い場合	ネジを揺れないように締め直します。
	センターフレームの破損	ご確認の上、交換してください。
	プロペラの損傷または間違った方向に装着された場合	新しいプロペラに交換してください。
モーターが回転しません。	モーターの損傷	購入先にアフターサービスを受付してください。
各スイッチが動作しません。	スイッチの接触不良	購入先にアフターサービスを受付してください。
FEEBYが上昇しません。	機体のバッテリー残量不足	機体のバッテリー交換
	送信機のバッテリー残量不足	送信機のバッテリー交換
モーターが止まりません。	スロットルスティックの保持時間不足	スロットルスティックを最下段に2秒以上保持してください。

この取扱説明書はFEEBYの日本語版取扱説明書であり、すべての著作権はHelsel Co., Ltd.に帰属します。無断複製及び修正を禁じ、摘発された場合、法的措置を取ることができます。

製造会社: Helsel Co., Ltd

連絡先: sales@helsel.co.kr

ウェブサイト: www.skyballdrone.com | www.helselgroup.com | www.helsel.co.kr

住所: #D-324,520 Misa-daero, Hanam-si, Gyeonggi-do, Rep of Korea